

# 「恋慕の情」ピアノで

## 沖縄ベートーヴェン協会演奏会 平良と新垣が聴かせる



沖縄ベートーヴェン協会第2回演奏会で「テンペスト」などを演奏したピアニストの平良敏人=12日、うるま市民芸術劇場響ホール

沖縄ベートーヴェン協会の第2回演奏会が12日、うるま市民芸術劇場響ホールで開かれた。いづれも県立芸大卒業生のピアニスト平良敏人と新

垣みのりが出演。田幸正邦会長の解説を挟みつつ、ベートーベンが生涯に三十二曲を残したピアノ・ソナタから、四曲を披露した。身を削るよう

な激しい恋慕の情を寄せ続けた最愛の女性ヨゼフイーネへのたぎる思いが、時を超え、鍵盤からあふれた。「ピアノソナタ第12番

作品26変イ長調「葬送」」「創作主題による32の変奏曲W。080八短調「ヨゼフイーネはどうして心変わりしたのか?」を弾いた新垣。「葬送」では、もの悲しいまでの心の痛みを、淡々とした静けさの中に表現。時に結び、時に離れる水の流れるように、美しい音の連なりを聴かせた平良。「ピアノソナタ第17番ニ短調「テンペスト」」では、最愛の人への身もたえるような恋情を表した。ヨゼフイーネの死を奏でる「ピアノソナタ第31番変イ長調作品110」。平良は、激しさというよりむしろ激情を閉じ込めた静謐さを感じさせる豊かな演奏を聴かせた。